スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

沖縄県石垣市 石垣島アスリートクラブ

実施団体名：　沖縄県石垣市　石垣島アスリートクラブ
担　　当　：　代表理事　新谷 敦史
電話番号　：　090-8293-5939

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	228.9 ㎢
人口	49,794 人 (令和7年1月現在)
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	1,637 人 (令和6年5月現在)
部活動数	63 部活 (男子35,女子28)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

・市内には９校の中学校、内3校は規模の大きな学校(400名以上)、6校は規模の小さな学校(50名以下)。小規模校では、部活動の種目の選択肢も限られてくる。
・大規模の中学校は市街地中心部に集中し、練習会場への移動は徒歩や自転車移動が可能。中心部から離れた小規模校から現在実施する地域スポーツクラブに参加するためには車で30～50分程の移動距離にある。
・令和元年65.8%だった部活動加入率が令和5年には53.7%に減少している。(文化系部活動を除く)凡そ800人の部活動人数に対し63の部活動があることから、1部活単位の人数は12名程と検証でき、部活動数をもう少し絞っていくことの必要性も考えられる。
・市内にはクラブチームも多数存在するが、どのチームも部活動地域移行については興味はあるがどのように取り組んだら良いか状況がわかっていない。
・運営主体となりうる総合型地域スポーツクラブが1つあるが石垣市全体を運営するだけの規模ではなく、行政との連携により基盤を強化していく必要性がある。

R6年度沖縄県登録認定団体

沖縄県内に5団体

- 一般社団法人
  サンビスカス沖縄(沖縄市)
- NPO法人沖縄健康づくり協会
  ダブルピース(糸満市)
- 特定非営利活動法人
  ナスク(今帰仁村)
- 一般社団法人
  琉球スポーツサポート(浦添市)
- 一般社団法人
  石垣島アスリートクラブ(石垣市)


登録認定証

登録ID 47 207 002

一般社団法人
石垣島アスリートクラブ 殿

貴クラブを公益財団法人日本スポーツ協会
総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録
クラブとして認定いたします

認定期間 2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

認定日 2024年4月1日

公益財団法人日本スポーツ協会
総合型地域スポーツクラブ全国協議会
会長 渡邉 優

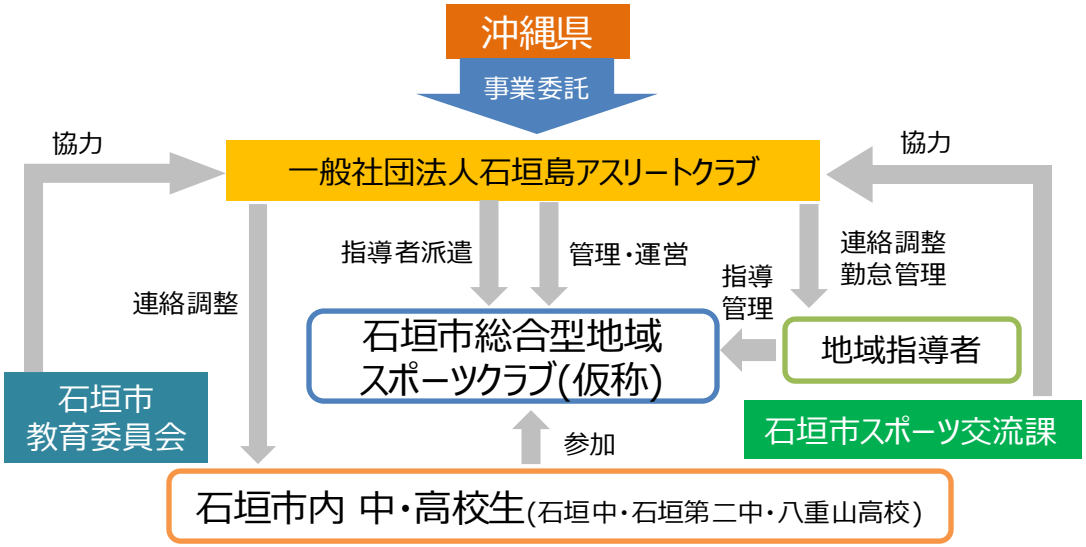


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政との連携

◉教育委員会

- 石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会討委員会の設置
- 石垣市総合型地域スポーツクラス開催の通知
- 中体連との連絡・調整

◉首長部局(石垣市スポーツ交流課)

- 総合型地域スポーツクラブの体制整備・登録認証
- 石垣島スポーツコミッションとの協力体制整備
- 地域おこし協力隊の活用への体制整備

年間の事業スケジュール

令和6年05月	・契約締結 ・関係各所との打ち合わせ ・石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団の在り方検討委員会委員委嘱
令和6年06月	・県立学校施設開放事業申請 ・実証事業実施調整(市教委)
令和6年07月	・地域おこし協力活用について連携調整(石垣市スポーツ交流課)
令和6年08月	
令和6年09月	・石垣市総合型地域スポーツクラブ募集サイト・チラシ作成
令和6年10月	・利用施設調整 ・地域指導者調整
令和6年11月	・石垣市総合型地域スポーツクラブ活動スタート(4コース)
令和6年12月	・オリンピアンによる特別講習実施(陸上コース)
令和7年01月	
令和7年02月	・実証後ヒアリング・事業完了報告

2.実証内容と成果

スポーツ庁

石垣市総合型地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

参加生徒数	22名(中学生),24名(高校生),10名(小学生)	参加学校数	２校
実施コース	陸上コース	アルティメットコース	
	サッカーコース	スポーツトレーナーコース	
全体の指導者数	８ 人	全体の運営スタッフ数	２ 人

②各コースに関すること

クラブ名	実施回数	実施 時間帯	参加者	活動 場所	指導者	運営 スタッフ	会費	大会 参加方法
陸上 コース	週4回 (月/水/土/日) 合計41回実施 (内,特別講習4回)	平日 17:00～19:00 休日 16:00～18:30	高校生14名 中学生11名 小学生 1名	石垣市中央運動公園陸上競技場	3人	2人	¥1,000 月額 (サブスク制) 全コース 共通 どのコースへも 参加可能	【中体連】 参加無し:地域クラブ(登録済) 【その他】 参加無し
アルティメット コース	週2回 (木/日) 合計24回実施	平日 17:00～18:30 休日 14:00～15:30	高校生5名 中学生3名 小学生8名		2人			【中体連】 参加無し 【その他】 地域クラブ:県内大会出場
サッカー コース	週 1 回 (土) 合計12回実施	8:00～10:00	中学生1名 体験参加10名	八重山商工高校グランド	2人			【中体連】 参加無し 【その他】 参加無し
スポーツ トレーナー コース	週1回 (不定期) 合計14回実施 (内,特別講習6回)	不定期 2～3時間	高校生5名 中学生7名 小学生1名	石垣市中央運動公園研修室 瑞穂MSC高校教室	1人			【中体連】 参加無し 【その他】 参加無し

2.実証内容と成果

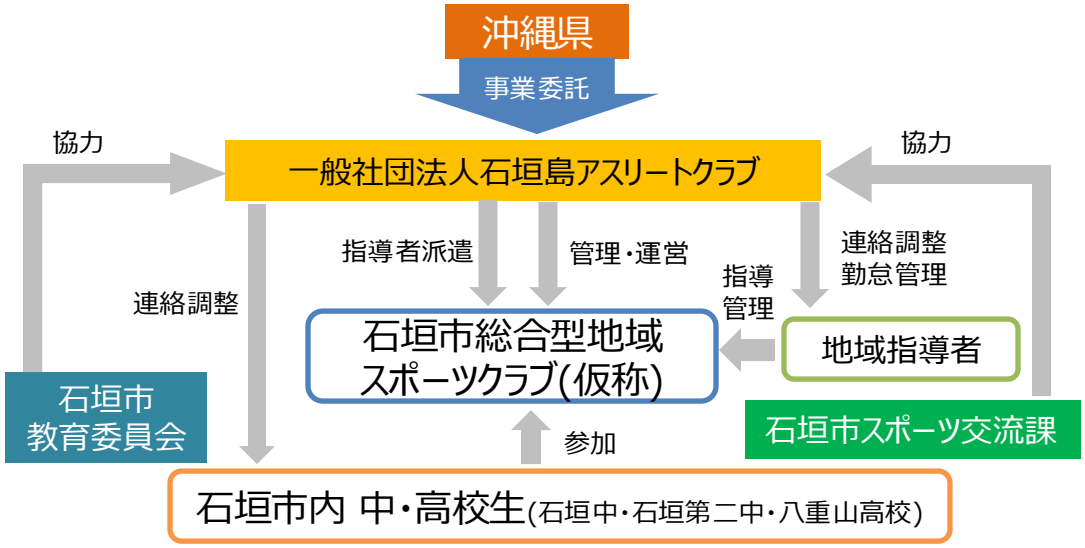
スポーツ庁

主な取組

●石垣市総合型地域スポーツクラブ活動概要

地域クラブ活動で実施種目	• 陸上競技コース • サッカーコース • アルティメットコース • スポーツトレーナーコース
運営団体名	一般社団法人石垣島アスリートクラブ
期間と日数	11月～2月上旬 ・陸上競技 ・サッカー ・アルティメット ・スポーツトレーナー
指導者の主な属性	総合型地域スポーツクラブコーチ 地域の専門指導者
活動場所	・石垣市中央運動公園 ・八重山商工高校グランド
主な移動手段	・自転車・徒歩・保護者による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	1,000円(月額) (4つのコース全てに参加可能)
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

［運営スタッフ］

➢ 統括コーディネーター

役割：運営管理の総括的な監督を担い運営管理・進捗確認を行う

（指導者調整・説明会等の実施含む）

［指導者］

役割：研修を踏まえ、適切な地域クラブ活動の運営・活動実施を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

総括コーディネーター配置

【関係団体・市町村等との連絡調整に関する取組】
石垣市、関係団体、との連絡調整を行う。石垣市教育委員会との連携調整を行う。
石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会において、石垣市における地域展開に向けて、県内外の先進地域での取組状況等を報告し取組助言を行っていく。

【運営団体・実施主体の体制整備や質の確保に関する取組】
・石垣市スポーツ交流課との連携調整（地域おこし協力隊の活用）を行い運営体制整備に必要な人材の発掘、確保、育成の取組を行う。
・八重山商工高校、瑞穂MSC高等学校との連絡調整、県立高校の運動施設開放事業の活用を行う。（施設利用、中高連携取組等）
・石垣市における総合型地域スポーツクラブが運営団体・実施主体となり、実証事業をおこなうための、資料作成、運営を行う。

年間の事業スケジュール

日付	活動内容	日付	活動内容
5/14	運動部活動の地域移行に関する周知説明会 令和5年度地域スポーツクラブ活動整備事業における成果報告	10/30 11/10	★石垣市総合型地域スポーツクラブ　活動スタート トレーナーコース特別講習会(パリオリンピック日本代表トレーナーによる講演&講習会)
5/24	第１回石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会 委員委嘱状交付式及び第１回会議	11/28	第2回石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会 実証事業実施中間報告
6/13	地域スポーツクラブ活動におけるトレーナーの活用について 日本福祉大学 スポーツ科学部　三井教授と打ち合わせ	12/20	沖縄県中体連陸上専門部会議にて沖縄県における部活動地域展開についての説明報告
6/20	瑞穂MSC高等学校　地域クラブ活動連携会議	2/7	第３回沖縄県運動部活動の地域移行に関する検討会議 令和６年度実証事業・樹点地域の政策課題の成果報告
7/16 7/23	地域おこし協力隊の活用についての話し合い(石垣市,石垣市スポーツ交流課)	2/18	第3回石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会 今年度の実証事業実施報告、来年度の実施計画報告
7/25	沖縄県スポーツ協会担当者と総合型地域スポーツクラブ活動についての視察会議 部活動地域移行と地域スポーツクラブ活動について情報交換	11月～ 2月	特別講習会のコーディネート(陸上コース4回)(アルティメットコース3回)(トレーナーコース6回) ・パリオリンピッ代表陸上選手(100m)、・北京オリンピック代表陸上選手（走幅跳） ・地元出身実業団選手による講習会、・理学療法士によるトレーナー講習会 ・パリオリンピック陸上日本代表チームトレーナー・日本福祉大学スポーツ科学部教授 ・日本フライングディスク協会、東京都アルティメットクラブチームによる講習会
10/18	石垣市施設管理課　公共施設管理担当者と地域スポーツクラブ活動における公共運動施設の使用についての話し合い		

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

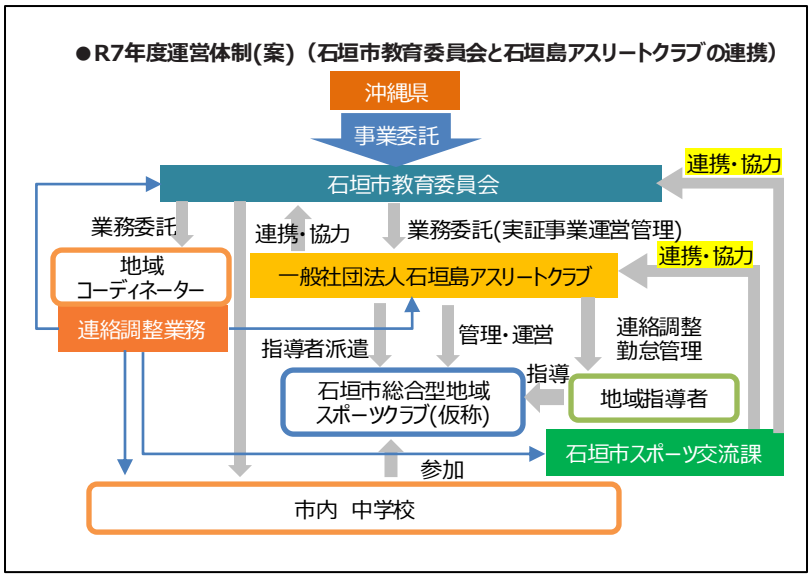
●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組の成果

【関係団体・市町村等との連絡調整に関する取組】
・石垣市教育委員会との協議連絡調整の結果、次年度の取組を右図のように、総合型地域スポーツクラブが、部活動地域連携の運営管理団体としての実証事業を行えるよう、仕組みづくりができた。

・石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会において、県内外多くの先進事例等を報告し、今後の石垣市の地域連携へ向けての取組の方向性を検討するためのアイデアを提供することができた。

【運営団体・実施主体の体制整備や質の確保に関する取組】
・瑞穂MSC高等学校の学校施設を利用することができた。ただし、今後、利用申請方法や利用時間等についての制度設計をしっかりと整える必要性があるため、次年度以降の課題も残った。
・県立高校の運動施設開放事業については今年度も活用することができた。
・石垣市における総合型地域スポーツクラブが運営団体・実施主体となり、実証事業をおこなうための、資料作成、仕組みづくり、運営方法の検証を行うことができた。



今後の課題と対応方針

【運営団体・実施主体の体制整備や質の確保に関する取組】
・石垣市スポーツ交流課との連携調整において進めてきた、地域おこし協力隊の活用について、申請最終段階において石垣市における財政状況の判断により、次年度の地域おこし協力隊の採用を見送ることとなってしまった。総務省から支給される、地域おこし協力隊の活動費となる「特別地方交付税」の活用方法について、改めて石垣市及び総務省と協議を進め、有効的な活用方法について改めて検証を行うことが必要となった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

【人材の発掘マッチング・配置に関する取組】・【研修資格取得促進に関する取組】
・石垣市スポーツ交流課、石垣島スポーツコミッションとも連携し、石垣島へ合宿で来島するアスリートの活用を行った。

開催日	アスリート名	競技種目,実績等	実施内容
12/16	長谷川大悟	三段跳,リオオリンピック日本代表	走幅跳練習会実施
12/18	東田旺洋	100m,パリオリンピック日本代表	スプリントクリニック実施
1/4	下地駿麻	100m,全日本実業団選手権4x100m優勝	トレーナー&アスリート連携陸上教室実施
1/31	長谷川大悟	三段跳,リオオリンピック日本代表	走幅跳練習会実施

取組の成果

合宿スケジュール決定後、地域スポーツ活動への協力を依頼、選手の合宿スケジュールの負担にならないよう、実施内容及びスケジュールを調整し今年度は、4回の講習会を実施することができた。講習会へは地域スポーツクラブへの参加者、高校生だけでなく、指導者も参加し、指導資質の向上につながる講習会を実施することができた。






今後の課題と対応方針

R5年に石垣島スポーツコミッションも設立され、石垣島へ来島するトップアスリートたちの合宿の一元管理に向けての取組も行い始めている。それを活用し、トップアスリートの地域貢献活動に結びつけて、講習会実施の協力依頼を行っていく調整が必要。ただし、合宿のスケジュールが決定するのは、来島の2～3か月前が多く、計画的の事業の実施計画を立てるのが難しいことが課題となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

【世代間交流に関する取組】
・中-高連携での合同練習の実施。高校陸上部と総合型地域スポーツクラブの陸上クラスが合同で活動を行い、地域スポーツクラブとしての受け皿となることを実証の実施を行う 。

取組の成果

・八重山高校陸上部との連携により、3ヶ月間で11回の中高連携の合同練習会を実施することができた。練習へは地域スポーツクラブのコーチ、地域指導者、高校陸上部の監督・コーチが関わることができ充実した指導体制を整えることができた。
・中学生は高校生から学ぶことで、特に中学3年生は卒業後も高校へ行って一緒に陸上がやりたい。と意識付けることもできた。
・中学までは総合型地域スポーツで陸上を学び、高校へ進学し陸上部で活動する選手からは、これまで受けてきた指導を高校へ行っても、継続して受けられることはとても嬉しいという声を聞くことができた。





石垣市総合型地域スポーツクラブ 陸上コース活動実証事業活動詳細

No	実施日	曜日	会場	練習時間	指導者	参加(中)	参加(高)	合計(学生)	
1	10月30日	水	陸上競技場	17:00-19:00	2	7	7	14	中高連携
2	11月2日	土	陸上競技場	16:00-18:30	1	7		7	
3	11月3日	日	陸上競技場	9:00-11:30	2	7		7	
4	11月6日	水	陸上競技場	17:00-19:00	3	7	12	19	中高連携
5	11月9日	土	陸上競技場	16:00-18:30	1	11		11	
6	11月10日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	4		4	
7	11月13日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	7	14	21	中高連携
8	11月16日	土	陸上競技場	16:00-18:30	1	7		7	
9	11月17日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	2		2	
10	11月20日	水	陸上競技場	17:00-19:00	2	10	10	20	中高連携
11	11月23日	土	陸上競技場	16:00-18:30	1	6		6	
12	11月24日	日	陸上競技場	17:00-19:00	1	10		10	
13	11月27日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	10	0	10	中高連携
14	11月30日	土	陸上競技場	16:00-18:30	1	8		8	
15	12月1日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	3		3	
16	12月4日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	10		10	
17	12月7日	土	陸上競技場	16:00-18:30	1	7		7	
18	12月8日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	5		5	
19	12月11日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	8	12	20	中高連携
20	12月14日	土	陸上競技場	9:00-11:30	1	6		6	
21	12月15日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	2		2	
22	12月16日	月	陸上競技場	17:00-19:00	2	6	4	10	中高連携(特別)
23	12月18日	水	陸上競技場	17:00-19:00	2	9	9	18	中高連携(特別)
24	12月21日	土	陸上競技場	17:00-19:00	1	6		6	
25	12月22日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	3		3	
26	12月25日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	5	8	13	中高連携
27	12月28日	土	坂道コース	16:00-18:30	2	7		7	
28	12月29日	日	マエザトビーチ	11:00-12:00	1	4		4	
29	1月4日	土	陸上競技場	13:30-18:00	2	9	3	12	中高連携(特別)
30	1月5日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	2		2	
31	1月8日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	11		11	
32	1月11日	土	陸上競技場	15:00-17:30	1	4		4	
33	1月12日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	4		4	
34	1月15日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	5		5	
35	1月18日	土	陸上競技場	16:00-18:30	1	4		4	
36	1月19日	日	陸上競技場	16:00-18:30	1	4		4	
37	1月22日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	4		4	
38	1月25日	土	陸上競技場	16:00-18:30	1	7		7	
39	1月26日	日	陸上競技場	16:00-18:30	2	3		3	
40	1月29日	水	陸上競技場	17:00-19:00	1	8		4	
41	1月31日	金	陸上競技場	17:00-19:00	1	1	1	2	中高連携(特別)

今後の課題と対応方針

・高校陸上部では年間を通して専門的な指導を行うにあたり、1月～8月までのシーズン中はやはり、高校生のみで専門的な指導を行いたいという、監督コーチからの提案もあり、現時点では期間限定の世代間交流の取り組みとなった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

取組事項

【世代間交流に関する取組】
・中-高連携での合同練習の実施。高校サッカー部と総合型地域スポーツクラブの小学生サッカーチームが合同で活動を行い、そこに地域スポーツクラブのサッカーコースとして中学生を受け入れて活動を行う実証を実施する 。

取組の成果

・八重山商工高校サッカー部との連携により、地域スポーツクラブのサッカーコース中学生と総合型地域スポーツクラブ小学生サッカーチームBREDDAとの世代間交流によるサッカー練習会を週１回実施の計画で取り組んだ。しかし、参加者が集まらず、中学校サッカー部へ再度呼びかけ、１つの中学校へ直接伺い練習指導を実施するも、その後地域スポーツクラブ活動への参加には至らなかった。

・活動は中学生の参加が無かったため、高校生と地域スポーツクラブに参加する小学生が県立学校体育施設開放事業で借用している会場で練習会を行うこととなった。





左写真は11/19に大浜中学校で実施した、体験練習会の様子。
参加者10名、指導には喜んでくれたが活動場所を移動して学校を離れての地域スポーツクラブ活動に、若干難色を示していたという、地域指導者からの声があった。

石垣市総合型地域スポーツクラブ サッカーコース
活動実証事業活動詳細

No	活動日	曜日	練習時間	指導者	参加者数
1	11/2	土	7:45-10:45	2	1
2	11/9	土	7:45-10:45	1	0
3	11/16	土	7:45-10:45	2	0
4	11/19	火	16:45-18:45	1	10
5	11/30	土	7:45-10:45	1	0
6	12/8	日	7:45-10:45	1	0
7	12/14	土	7:45-10:45	1	0
8	12/21	土	7:45-10:45	1	0
9	12/28	土	7:45-10:45	1	0
10	1/11	土	7:45-10:45	1	0
11	1/18	土	7:45-10:45	1	0
12	1/25	土	7:45-10:45	1	0

今後の課題と対応方針

・担当地域指導者より、学校部活動の指導者に確認したところ、11月～1月は現時点ではまだ、中体連の新人大会への取組もあるため、やはり学校単位での練習活動を行いたいという回答があり。地域スポーツクラブ活動への参加には至らなかったという結果となった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実③

取組事項

【世代間交流に関する取組】
・アルティメットコースではジュニアからシニアまで多世代で取り組むことも配慮して、活動時間を1時間３０分として活動を行う。
　多世代で一緒に出場できる大会へ参加する。

取組の成果

・アルティメットコースへは小学生・中学生・高校生と多世代の参加者が集まり一緒に活動することができた。参加者はアルティメット以外に陸上競技、サッカー、野球部、テニス部に所属している選手、まだ他に運動部活動はやっていないが、勉強との両立をするため、週に1～2回ほどの運動運動をしたかったという生徒が参加した。
・重点地域の政策課題への取組とも並行して、多世代で取り組むスポーツで大会に出場することができた。「沖縄オープンアルティメット大会」へ小学生から大学生までが１つのチームを編成して出場した。





石垣市総合型地域スポーツクラブ アルティメットコース活動実証事業活動詳細

No	活動日	曜日	練習時間	会場	指導者	参加者数
1	11/3	日	9:30-11:00	陸上競技場	1	9
2	11/7	木	17:00-18:30	陸上競技場	1	6
3	11/10	日	14:30-16:00	陸上競技場	1	12
4	11/14	木	17:00-18:30	陸上競技場	1	6
5	11/17	日	14:30-16:00	陸上競技場	1	11
6	11/24	日	14:30-16:00	陸上競技場	1	8
7	11/28	木	17:00-18:30	陸上競技場	2	9
8	11/30	土	13:00-15:00	真栄里公園	2	30
9	12/1	日	14:30-16:00	陸上競技場	1	9
10	12/5	木	17:00-18:30	陸上競技場	1	11
11	12/8	日	14:00-15:30	陸上競技場	1	11
12	12/12	木	17:00-18:30	真栄里公園	1	11
13	12/19	木	17:00-18:30	プール前広場	1	9
14	12/22	日	14:00-15:30	陸上競技場	1	13
15	12/27	金	15:00-16:30	プール前広場	1	7
16	12/29	日	14:00-15:30	真栄里公園	1	10
17	1/5	日	14:00-15:30	真栄里公園	1	11
18	1/9	木	17:00-18:30	真栄里公園	1	7
19	1/12	日	16:30-18:00	真栄里公園	1	8
20	1/16	木	17:00-18:30	プール前広場	1	8
21	1/19	日	14:00-15:30	真栄里公園	1	10
22	1/23	木	17:00-18:30	プール前広場	1	6
23	1/26	日	9:00-10:30	真栄里公園	1	10
24	1/30	木	13:00-15:00	真栄里公園	1	8

今後の課題と対応方針

・小学生から高校生まで一緒に活動し、高校生が率先して、小中学生をまとめて活動する様子が見られるようになった。参加者からは2月以降も継続して活動を実施したいという声があがった。
・地域スポーツクラブとして多世代で１つの大会に参加できたが、年間に1大会でなく、他にも参加できる大会を探す、もしくは創り出していくことも必要であると感じた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実④

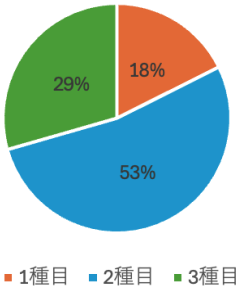
取組事項

【複数種目やシーズン制の取組】
・現在活動しているスポーツ以外を週末に活動できる部活動として、総合型地域スポーツクラブ内に自由に参加できる4つのコースを設置、月の活動費を一律のサブスク制にすることで、自分の活動したい種目や曜日を選んで参加できるように取り組んだ。今年度は陸上コース、サッカーコース、アルティメットコース、スポーツトレーナーコースを設置した。



取組の成果

	1種目	2種目	3種目
活動種目数	6	18	10



・スポーツトレーナーコースの設置においては、これまで触れることができなかった、講習内容が多く参加者はその活動にとても満足してくれた。

・4つのコースを合わせて小学生から高校生まで全34名の参加者の地域スポーツクラブ及び部活動への参加状況を確認。左の図のように全体の82%が複数種目のスポーツ活動に取り組むことができた。

・地域スポーツクラブ活動ということで、別に各学校での部活動に参加している生徒も活動に参加することができた。

今後の課題と対応方針

・スポーツ活動を行う場所を提供し参加を呼びかけるだけでなく、複数種目への取組の効果や必要性等を伝える取組を行うことも必要であると感じた。

R6年度　石垣市地域スポーツクラブ　活動者名簿

					地域スポーツクラブ活動				部活動(その他クラブ)	活動種目数
参加者	1	女	中学	1年	陸上				バスケ部	2
参加者	2	男	中学	1年	陸上			トレーナー		2
参加者	3	女	中学	1年	陸上			トレーナー		2
参加者	4	女	中学	2年	陸上			トレーナー	陸上部	3
参加者	5	女	中学	2年	陸上			トレーナー	バスケ部	3
参加者	6	男	中学	2年	陸上			トレーナー	陸上クラブ	3
参加者	7	男	中学	2年	陸上				ボクシングクラブ	2
参加者	8	男	中学	2年	陸上				ボクシングクラブ	2
参加者	9	男	中学	3年	陸上				陸上クラブ	2
参加者	10	女	中学	3年	陸上			トレーナー	陸上クラブ	3
参加者	11	男	中学	3年	陸上			トレーナー	陸上クラブ	3
参加者	12	男	中学	1年		サッカー			サッカー部	2
参加者	13	男	中学	1年			アルティメット		ソフトテニス部	2
参加者	14	男	中学	1年			アルティメット		ソフトテニス部	2
参加者	15	女	中学	1年			アルティメット		陸上部	2
参加者	16	女	高校	1年	陸上		アルティメット		陸上クラブ	3
参加者	17	男	高校	1年			アルティメット		陸上部	2
参加者	18	男	高校	2年			アルティメット			1
参加者	19	男	高校	2年			アルティメット			1
参加者	20	男	高校	2年			アルティメット			1
参加者	21	男	高校	1年	陸上			トレーナー	柔道クラブ	3
参加者	22	女	高校	2年	陸上			トレーナー	陸上部	3
参加者	23	女	高校	2年	陸上			トレーナー	陸上部	3
参加者	24	男	高校	2年				トレーナー	バドミントン部	2
参加者	25	女	高校	2年				トレーナー	バドミントン部	2
参加者	26	男	小学	4年			アルティメット			1
参加者	27	男	小学	4年			アルティメット		陸上クラブ	2
参加者	28	男	小学	5年			アルティメット		野球クラブ	2
参加者	29	女	小学	6年	陸上			トレーナー	陸上クラブ	3
参加者	30	男	小学	6年			アルティメット		陸上クラブ	2
参加者	31	男	小学	6年			アルティメット		陸上クラブ	2
参加者	32	男	小学	6年			アルティメット		陸上クラブ	2
参加者	33	男	小学	6年			アルティメット			1
参加者	34	女	小学	6年			アルティメット			1

1ページ

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

【学校施設の効果的な活用や管理方法に関する取組】
・県立学校体育施設開放事業を活用して、県立高等学校の施設での地域スポーツ活動を実施する。
・石垣市に本校を置く、瑞穂MSC高等学校との連携により、学校施設を地域スポーツクラブ活動に利用する。

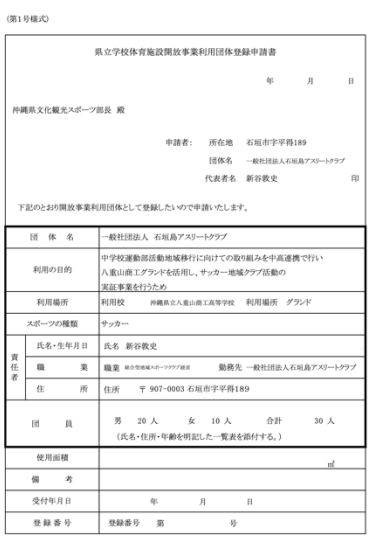
取組の成果

［八重山商工高校高等学校グランドの活用］
・申請により令和5年度に引き続き令和6年度も八重山商工高校のグランドを総合型地域スポーツクラブで使用許可を受けて活用することができた。

［瑞穂MSC高等学校の教室及びホールの活用］
トレーナーコース特別講座において2回施設を利用させていただくことができた。







（第1号様式）

県立学校体育施設開放事業利用団体登録申請書

年　月　日

沖縄県文化観光スポーツ部長　殿

申請者：　所在地　石垣市字平得189
団体名　一般社団法人石垣島アスリートクラブ
代表者名　新谷教史　印

下記のとおり開放事業利用団体として登録したいので申請いたします。

団体名	一般社団法人 石垣島アスリートクラブ	
利用の目的	中学校運動部活動地域移行に向けての取り組みを中高連携で行い八重山商工グランドを活用し、サッカー地域クラブ活動の実証事業を行うため	
利用場所	利用校　沖縄県立八重山商工高等学校　利用場所　グランド	
スポーツの種類	サッカー	
責任者	氏名・生年月日	氏名　新谷教史
	職業	職業　総合型地域スポーツクラブ経営　勤務先　一般社団法人石垣島アスリートクラブ
	住所	住所　〒907-0003 石垣市字平得189
団員	男　20人　女　10人　合計　30人 （氏名・住所・年齢を明記した一覧表を添付する。）	
使用面積		㎡
備考		
受付年月日	年　月　日	
登録番号	登録番号　第　号	



第1号様式

学校施設使用許可申請書

令和　6　年　5　月　30　日

沖縄県立八重山商工高等学校
校長　殿

住所　：　沖縄県石垣市字平得１８９
所属団体　一般社団法人石垣島アスリートクラブ
及び代表者：　代表理事　新谷　教史　印
申請者：　新谷　教史
（電話番号：　）

次のとおり、学校施設の使用を許可くださるよう申請します。

学校名	沖縄県立八重山商工高等学校
使用場所	グランド
使用目的	中学校運動部活動地域移行に向けての取り組みを中高連携で行い八重山商工グランドを活用し、サッカー地域クラブ活動の実証事業を行うため
使用日時	令和　6　年　6　月　1　日　午前・午後　時　分から 令和　7　年　3　月　31　日　午前・午後　時　分まで
使用上の取扱及び管理方法	貴校の管理指定に従い、適正に使用し管理します。
集合人数及び対象	八重山郡内の中学生・高校生 30名
特別設備等	
※使用料	円　収納　令和　年　月　日

※は記入しないでください

校長	教頭	主幹教諭	事務長	事務	係

今後の課題と対応方針

昨年度に引き続き、県立学校体育施設開放事業を活用、現時点では利用において課題点等も無く、有効に活用できている。また、今年度初めて瑞穂MSC高等学校の学校施設を地域に開放していただくという取組を学校側との協議により実施できた。現時点では正式な契約等を結んで利用していない為、その都度、利用日、時間等を学校へ報告し、学校で使用についての許可をいただき利用する形であった。そのため、学校行事との重複のため利用できない日や休日の利用については職員が対応できず、利用できない日などが生じてしまった。

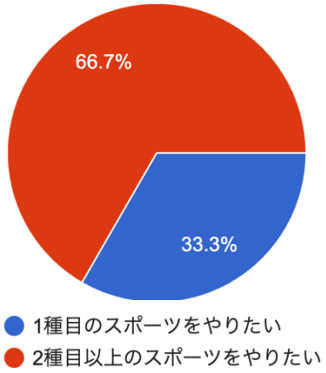
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

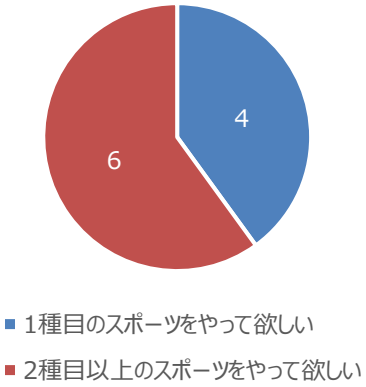
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

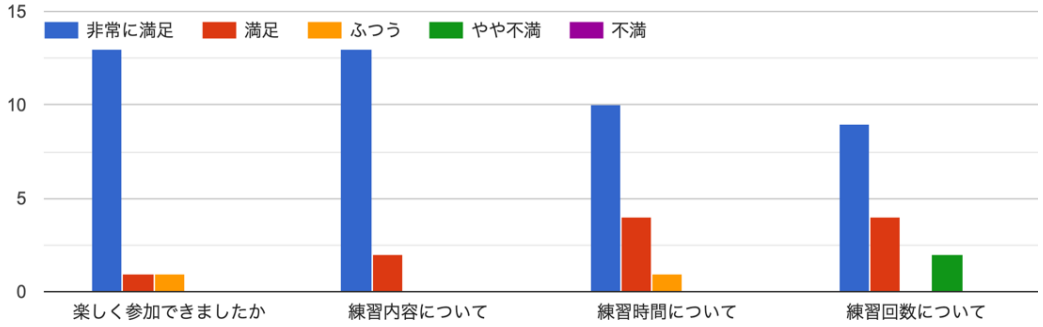
Q.複数種目のスポーツを実施してみたいですか？（学生の回答）



Q.複数種目のスポーツを実施してみたいですか？（保護者の回答）



Q.地域スポーツクラブでの活動についていかがでしたか？（学生の回答）



R6地域スポーツクラブ活動アンケート(回答) より抜粋

●参加者の声

中学2年生（トレーナーコース）
実技講習会では、アイシングやストレッチ、トレーニング、自分では意識したことがなかった呼吸の事など、今後の練習や大会で活用していきたい事を楽しみながら沢山学べてとてもいい機会になりました。

中学3年生（トレーナーコース）
オリンピックでの選手との関わりや、選手がどのように過ごしているのかが知れて、私も将来このようにサポート役として大会について行きたいと思いました。体験談を聞くことで、将来自分がなりたい像のイメージができて良かったです。

指導者(トレーナーコース)
受ける生徒への宣伝が必要かと思いました。部活では習わない事や人(他部活)とのコミュニケーションなどの大事さが必要ですが、受ける生徒が少ないと活気が下がるかと思います。

指導者（陸上コース）
指導者としてのスキルアップの講習会等もスケジュールが事前をわかれば、参加していきたい。
オンラインで受講可能な資格は取得していきたい。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和５年度はアカデミー形式で、陸上競技、サッカーにおいてそれぞれ、参加者を募る形で実証を実施したが、今年度は総合型地域スポーツクラブが運営管理団体となり、複数種目の競技にマルチに参加できる形体の実証を行い検証した。

総合型地域スポーツの特性を活かして、複数の種目を実施できる環境を整え、多くの学生が2種目以上のスポーツ活動に取り組むことができた。

総合型地域スポーツクラブが運営主体になるために必要なことを検証する実証を行ってきたが、現時点では教育委員会、学校現場との調整不足が大きな課題となってしまっている。次年度は教育委員会と連携しての実践に向けて取り組むことができるよう準備もできたため、これまでの経験を活かし、今後、実証期間に縛られることなく、1年間通した、地域スポーツクラブ活動を自走化していける仕組みづくりを行い、財源確保や参加費の在り方にも具体的な内容を検討していく。

地域の特性を活かして、合宿に来島するトップアスリートの活用方法についても、再度検証を深めていきたい。

●成果の評価

[総括コーディネーターの活動]

・沖縄県、石垣市行政との積極的な調整を行い、次年度は石垣市として地域展開に向けて実証を進めていく事を決定することができた。また、総合型地域スポーツクラブが、部活動地域連携の運営管理団体としての実証事業を行えるよう、仕組みづくりを行った。石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会の委員を委嘱され県内外多くの先進事例等を報告し、今後の石垣市の地域連携へ向けての取組の方向性を検討するためのアイデアを提供することができた。

【運営管理団体としての活動】

総合型地域スポーツクラブとして、多世代での取組を軸に小学生から高校生まで多くの学生がスポーツを楽しむ場所を提供することができた。ただし、その活動状況をまだ参加できていない学校や生徒・歩保護者へ普及する点において取組に課題が残った。

指導者の確保において、地域の人材、石垣市へ来島するアスリート等、有効的に活用することができた。

●今後に向けて

石垣市全体の地域展開を担うことができるような、管理運営団体の育成、実施団体となるクラブの認証制度、参加費や活動費捻出のための財源確保や自走化に向けての制度設計等、これまでの実証事業の経験を活かし、次年度から石垣市における地域スポーツ活動の取組を実証していくことになる。

そのために、地域一体となり、子どもたちの継続的なスポーツ活動の実現に向けて取り組んでいくことが大切となる。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



陸上コース 中高連携 合同練習



陸上コース 中高連携 合同練習



陸上コース パーソナルトレーナーによる
神経伝達系トレーニング



パーソナルトレーナーによる
カラダの動かし方確認



北京オリンピック代表選手による
走幅跳 講習会



郷土の先輩 実業団選手による
トレーニング指導

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



パリオリンピック代表トレーナーによる
カラダの硬さチェック



正しいアイシングの実技講習



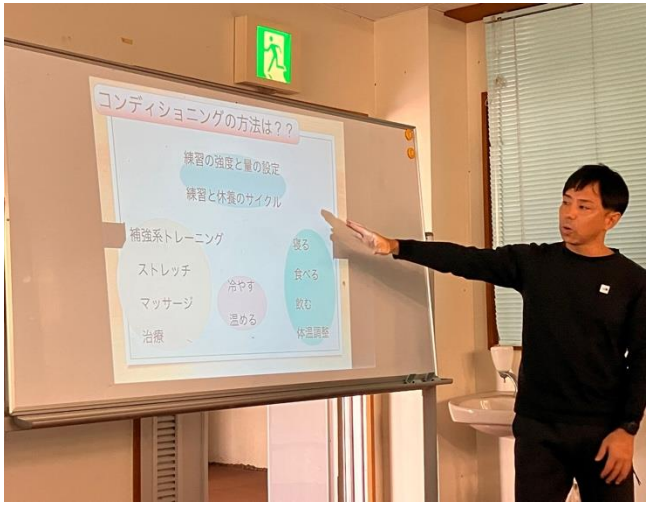
鍼灸師による骨格見本をつかった
筋肉のつき方確認



理学療法士にによる
ストレッチ講習



日本福祉大学スポーツ科学部教授による
キネシオテーピング実践講習



パリオリンピック代表トレーナーによる
ウォーミングアップ講習

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



小学生から高校生まで
一緒に練習するアルティメットコース



体格差や体力差があっても
それをみんなで補い合ってプレーする



地域スポーツクラブで出場した大会で
ゴールして喜ぶ小学生



こどもから大人まで一緒に活動できる
アルティメット



公共施設の陸上競技場を
メイン会場として練習を実施



競技場利用できない場合も
このような広場があれば練習可能

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料

地域スポーツクラブ開始のチラシを作成、教育委員会を通して
市内全中学生に配布した。

誰でも参加受付や活動スケジュールカレンダーの確認が
できるよう確認できるよう、ホームページを制作した。

参考資料





【生徒への参加啓発チラシ】





【ホームページ】
https://npoiac.rdy.jp/bukatsu.html

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年		令和7年		令和8年	令和9年
✓ 総合型地域スポーツクラブの運営管理団体としての検証	✓ 複数種目 ✓ 多世代での取組についての検証	✓ 運営仕組みづくり ✓ 年間通した活動 ✓ 平日の取組実施準備	✓ 市内学校現場への周知説明 ✓ 生徒・保護者への周知説明	✓ 地域クラブ活動の開始（一部平日含む）	✓ 地域クラブ活動の拡充（主に平日実施）

●ステークホルダー

教育委員会(学校教育課、学務課施設係)、市長部局(石垣市スポーツ交流課、財政課)、総括コーディネーター、学校、地域指導者

●経過

令和5年4月に一般社団法人石垣島アスリートクラブが「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」を受けて実証事業を開始、総合型地域スポーツの特色を活かした活動を実証してきた。同時に石垣市教育委員会でも「石垣市中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会」を発足し、地域展開の取り組み開始に向けて準備を進めてきた。顧問をはじめとする学校現場への地域展開の浸透度がまだ低く、課題がある。現状の総合型地域スポーツクラブで活動している種目を優先に地域クラブへの移行の実証実施を進めてきた。実施に当たっては地域人材と総合型地域スポーツクラブの指導者を中心に指導者の配置を行い活動してきた。

●実施にあたって生じた課題

［学校及び生徒・保護者への周知説明］　現時点では、学校現場を通して生徒・保護者への周知説明不足な点が大きな課題となっている。次年度より石垣市教育委員会と連携して実証事業を行うことにより、しっかりと関係者への情報伝達を行っていく。

［運営管理団体組織をつくる］　現在、既存の総合型地域スポーツクラブが運営管理団体としての活動を担うための検証を行っているが、石垣市全体の地域スポーツクラブ活動を運営管理していくためには、地域おこし協力隊等を活用した仕組みづくりが必要になる。今年度石垣市と調整を行ってきたが、予算面の課題により地域おこし協力隊の採用に至らなかった、次年度も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。

●今後の展開

本市には60を超える部活動がある中で、全てを学校・部単位で地域クラブを設置することは困難である。そのため、生徒数や学校区に応じて、現行の部活動をまとめながら、地域スポーツクラブとして活動してく事を考える必要がある。そのためには石垣市が実施主体となるクラブの認証制度を設計することが必要。その上で、地域クラブ数に相応する収支バランスを踏まえた財源の確保及び参加費の価格設定と徴収の在り方、活動施設の割当等検討を行う。それに伴い、学校及び保護者に対して、子どもたちの持続可能なスポーツ環境の整備に関する周知説明会やパンフレット・PR動画等を活用しての理解促進のための取り組みを実施する。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
方針・制度設計			
検討委員会の設置・運営	→	→	→
推進計画の見直し・策定		→	→
教員の兼職・兼業の規定及び運用の見直し		→	→
平日含めた地域展開の方針を決定（推進計画）		→	→
実施主体・地域クラブ運営			
実施主体（地域クラブ）認証・基準づくり	→	→	
地域団体等との連携・協議	→	→	→
実施主体の認定・運営	→	→	→
指導者・研修制度			
指導者基準・条件の整理		→	
研修・認証制度の整理		→	
人材バンクの設置・募集・運営		→	→
財源の確保・参加費の設定			
経済困窮家庭への支援制度の検討・方針決定		→	→
企業版ふるさと納税含む財源確保の仕組みづくり		→	→
参加費の設定・周知・受け入れ		→	→
学校体育施設の有効活用			
学校施設利用方法（指定管理制度・予約システム含む）の検証		→	→
ICT活用の導入・運用		→	→
学校体育施設の安心安全な仕組みづくり		→	→